

まつざき真琴

県議会ニュース

発行/日本共産党鹿児島県議団
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
直通電話・ファックス 099-286-3977
E-mail: m-matsuzaki0416@jcp-kagoshima.com
県議団ホームページ http://jcp-kagoshima.com

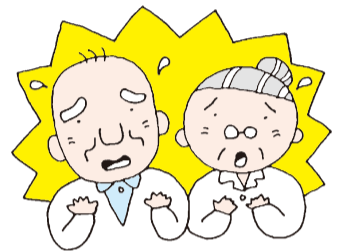


県議会議員
まつざき真琴

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。
長引く不況の中で、県民のみなさんの暮らしは、ますます厳しくなっています。「病気になるって、医療費が負担できない」「仕事が減って生活ができない」などの相談も寄せられています。
私は、九月議会で一般質問に立ち、県民のみなさんの暮らしと福祉を守る立場で、医療費の負担軽減や川内原発3号機増設問題、県営住宅の建て替え問題、特別支援学校のスクールバス増便などについて取り上げました。
その内容について、お知らせいたします。ぜひ、ご意見やご要望をお寄せください。

「あいさつ」

県民の命と健康まもる医療費の負担軽減を



子ども医療費助成の充実を!

まつざき県議は、議員となって7年半、子どもの医療費助成の年齢引き上げと現物給付（窓口での助成）を一貫して要求してきました。以前は、県の制度は、医科は6歳未満、歯科は4歳未満であったのが、現在は、どちらも就学前までに引き上げられ、支給方法も、自動償還払いへと前進しました。

今、県内の自治体では、県の制度に上乗せをして対象年齢を引き上げたり、自己負担額を少なくしたりしています。薩摩川内市、出水市、十島村、大和村では中学校3年生まで無料です。長崎県では、来年度から、現物給付を実施する予定になっており、これで、九州・沖縄で現物給付を導入していないのは、沖縄県と本県だけになってしまいました。

子育て真っ最中の若い世代は、収入も不安定な世帯が少なくありません。子育て支援の立場から、現物給付に踏み切ることを強く求めました。



国保税の負担軽減へ県独自の支出金を!

「高すぎる国保税が払えない」この声は切実です。国保の加入者は、現在は退職者や無職者が過半数です。低所得者が多く加入する国保は、手厚い国庫負担無しには成り立ちません。まつざき県議は、国保税の引き下げのために、国保への国庫負担を増やすことや県独自の支出金を求めました。

また、低所得者の病院窓口での負担（1割～3割）を減免する制度を活かしていくために、国が示した新たな基準をしっかりと市町村に周知することを求めました。

高齢者から保険証の取り上げを止めよ!

後期高齢者医療では、7月末現在、1,017名もの滞納者に短期保険証（1ヶ月または3ヶ月の期限あり）の交付がなされています。

そもそも、後期高齢者医療保険料は、年金が月額1万5千円以上の人は天引きされているので、保険料を滞納している人の多くは、年金が1万5千円以下の人、もしくは無年金の人たちです。高齢者にとって、病院にかかれないのは死ねというのと同じです。短期保険証では、高齢者の命は守れません。短期保険証の交付は止めて、正規の保険証を交付することを求めました。

	滞納	短期保険証	資格証明書
国民健康保険 2010.6.1現在(世帯)	51,719	20,223	5,176
後期高齢者医療保険 2010.7.31現在(人)	4,281*	1,017	—

県内の滞納世帯の状況 ※2010.5.31現在

県営住宅の建て替えは継続すべき



「寝耳に水」の建て替え中止方針は事実か?

鹿児島市に、県営原良団地があります。建築後40年近くたち、老朽化しており、建て替えが始まりました。県は、全ての棟ごとに、おおよそいつ頃解体が始まって、いつ頃完成するのかを説明会で示しました。

ところが、住民に何の説明もなく、この建て替えを中止してガーデンヒルズ松陽台への転居をすすめること、旧鹿児島市内の県営住宅を将来ゼロにするという方針が、3月議会の委員会の中で示されました。

まつざき県議は、原良団地においての建て替えが中止となり、15年くらいをめどに移転を進めるとなれば、その間、政策空き家が増え続け、住民の高齢化と人口の減少が進み、まち全体が活力のない、さびれた地域になってしまうということ。旧鹿児島市

内での県営住宅をゼロにして、民間住宅化を進めるということは、「便利などころには金持ちしか住めない」「収入の少ない人は、多少不便でも郊外で我慢をせよ」ということになること。そして、これが、住民に全く知らされず進められようとしているという問題を指摘しました。

住民全員が住み続けられるように!

県の答弁では、方針を改め、一定数は原良団地内で建て替えを行うと答えました。住民のみなさんは、「年をとってから、郊外に引っ越すことは考えられない」「約束を守ってほしい」と計画通りの建て替えを望んでいます。

まつざき県議は、希望する人たち全員が住み続けられるよう、計画通りの建て替えを強く求めました。

人工島よりも県民のくらしや福祉を守れ



1工区の維持管理費に年間1億6000万円

福祉の充実を求めるといつも答弁でなされるのが、「県財政の厳しさ」です。それでは、ムダはないのか、と言う点でもまつざき県議は、県民の目線でムダづかいをチェックしてきました。

その象徴と言えるのが、人工島、「マリポートかごしま」です。今、1工区では、観光船が昨年26回入港し、今年は49回ほど入港する予定です。このため、1工区の維持管理費に、年間1億6000万円が費やされています。

平日に行くと、営業マンなどが、駐車場に車を停めて、お弁当を食べたり、休憩をしている光景が見られます。そのために、数百億円を投じて、どうしても作らなければならなかったのだろうか考えると、これ以上、ここに無駄な税金を使うべきではありません。

人工島で避難生活ができますか？

現在、2工区について、緑地や駐車場、防災関連設備としてシェルターや防災トイレなどの基本設計をするために、1260万円業者へ設計委託がなされています。

台風、地震、豪雨などの被災者が海に囲まれた人工島で、たとえ短期間でも避難生活が送れるでしょうか。

まつざき県議は、災害後の対応空間として、本当に海の中に突き出した人工島がふさわしいのか、問題点を指摘してきました。

これ以上人工島に費やすお金があれば、特別支援学校のスクールバスが補助席まで使って子どもたちを送迎している状態を改善するために、バスを増便させたり、子どもの医療費の助成をもっと充実させることなども可能です。これ以上人工島に事業費を費やすべきではないと県に迫りました。

議案等に対する各会派の態度

9月議会に提案された議案のうち、まつざき県議は、10件に賛成し、2件に反対しました。その中の主な議案と、主な請願・陳情、意見書に対しての各会派の態度は、下記のようになりました。

- × 否決すべき、不採択すべき
- 可決すべき、採択すべき
- △ 継続すべき
- 連合…民主・社民・無所属連

議案・陳情	共産	自民	連合	公明	無所属				採決結果
					A	B	C	D	
議案 県防災研修センターの管理に指定管理者を導入する議案	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情 川内原発3号機増設に賛成する陳情書 県営原良団地の建替えを計画通りに進めることを求める陳情書 県立学校の普通教室にクーラー設置を求める陳情書	×	○	×	○	○	○	○	○	採択
	○	×	△	△	×	×	×	×	不採択
	○	×	△	△	×	×	×	×	不採択
意見書 消費税の議論を求める意見書	×	○	×	○	○	○	○	○	可決



南大隅町の斜面崩壊の現地調査を、持留良一垂水市議と共に行う(7月9日)



徳之島への基地機能移設反対について、県に申し入れを行う(5月25日)

活動アルバム

核兵器廃絶を求める署名活動に参加する(8月6日)



口蹄疫の対策について、仁比そうへい前参院議員と共に、曾於市長と懇談する(6月)



口蹄疫の対策について、県に申し入れを行う(5月25日)

ご意見・ご要望を
ぜひお寄せください



一人で悩まずに、お気軽にご相談ください。

099-286-3977 (日本共産党県議会控室)

099-251-7333 (日本共産党県委員会)

099-295-8776 (日本共産党まつざき真琴吉野事務所)

※吉野事務所は、毎週木曜日14:00~16:00の間においでいただくか、お電話ください。